

大島地区不登校等対策研修会

趣旨

不登校等の未然防止，早期発見・早期対応のために大島地区の現状と基本的な考え方を学ぶことで，生徒指導担当者等の資質を高めるとともに，各学校での対応の充実に資する。

参加者

小中学校の生徒指導主任(係)，養護教諭，SC，SSW，市町村教育委員会指導主事等

実施日

8月2日(金) 大島支庁奄美会館

8月19日(月) 徳之島町生涯学習センター

講話

「不登校傾向及び不登校の児童・生徒，その保護者の理解と支援」

鹿児島大学教職大学院 有倉巳幸 教授



不登校の中心感情は「不安」

- 「不安」な状況を回避しようとする行動の一つ
- 本人の「不安」(拒絶,孤立,暴力,失敗に対する責め等)を把握し，それを取り除くような関わり(対応)が必要
- 対応のレパートリーを増やす。(チーム学校で！)

再登校への支援

「できる」を広げる

- ・まず「できる」ことに着目する。
- ・「できる」場所や支援者を用いる。

他者との関わりを増やす

- ・信頼できる他者を増やす。
- ・不安と不信を回復する。

演習

「家庭訪問時や面談時の支援に関する演習」(ロールプレイ)



保護者との関わり方の基本的姿勢

カウンセリング的関わり

- ・共感的理解に終始する。
- ・楽な表情を目指す。
- ・次の相談につなげる。

見方を否定しない

- ・多様な視点から理解する。
- ・間違っていると思わない。
- ・家庭では行動が変わる。

保護者との関わり方の留意点

- できるだけ一人で対応しない。
- 関わりを絶たない。(定期的なメッセージが効果的)
- 謙虚な姿勢で話を聞き，理解する。(アドバイスしない)
- 教育委員会やSCを積極的に活用する。(同一歩調で)

感想

- ・保護者や生徒と信頼関係をつくることの大切さは理解していたが，自分の取組が不十分であったことを顧みることができた。
- ・ロールプレイをとおして，その立場に立ってみて初めて分かることや感じるものがたくさんあった。